

姥ヶ山自治会報

第 72 号

発 行 者
姥ヶ山自治会
吉岡富三雄

印 刷
新潟マイクロコンピュータ株

平成二十六年九月三十日現在
姥ヶ山自治会動向
世帯数 一、四二〇戸
班 数 一一五班

姥ヶ山諏訪社大祭を終えて

姥ヶ山氏子会 会長 青木 正

姥ヶ山諏訪社氏子会の皆様、姥ヶ山自治会、地域の皆様には、いつも温かいご理解・ご協力を頂き、心から感謝いたしております。

本年も、恒例の諏訪社秋の大祭が、氏子会役員はじめ、自治会の祭り実行委員会の皆様の御努力のお蔭で、成功裡の内に終わる事が出来ました。今年も昨年同様、火、水曜日と平日だった事で、民謡おどりの人出が心配されましたが、そんな心配どころか、今までに無いくらい賑わいで、本当にうれしく思っております。これも関係役員皆様のご尽力のおかげと心より感謝申し上げます。

これからも、伝統ある姥ヶ山諏訪社の大祭で、地域の老若男女大人も子供も一体になって、楽しい一夜を過ごすことは、大変意義あることだと考えておりますので関係各位の皆様の温かい御協力の元で長く継続されることを祈念いたします。

太々神楽舞では、心配された雨が最後の最後の大黒舞で雨のために供物撒きができなく、拝殿で舞って頂き、大量に用意した、供物も拝殿の中で撤きました。これも過去に無いことで、語り継がれる様となりました。

姥ヶ山諏訪社氏子会では、一昨年より、絵馬とおみくじを常に拝殿の前に用意いたしましたが、大変好評でこれからも継続いたしてまいります。家内安全、合格祈願などなど、ご希望の



準備作業の様子(8月24日)



方は、代金を賽銭投入口に入れてお使い下さいますよう、お願いいたします。また、二年参りも例年通り三十一日四時頃から浄火(焼き場)を初め、お札も販売いたします。今年もお札は天照大神、諏訪神社のお札、それに『破魔矢』も用意いたしますので、よろしくお願いいたします。地域の皆様には家内安全、合格、健康、等々の御祈願として、お気軽に御参拝くださいますよう、お願いいたします。



太々神楽舞



宮 上 り



「姥ヶ山祭り」に思うこと

祭り実行委員長 利根川高雄

今年の夏も終わりを告げようとする八月二十六日・二十七日に恒例となっている「姥ヶ山祭り」が盛大に執り行われました。

毎年大勢の皆さんに参加して頂いている「盆踊り」には、これまでの最高の人出ではないかと思われる盛況ぶりでした。踊りの休憩時に来場者に配られたアイス五〇〇個は、全員に行き渡らなかつたのではないかと思われ、踊りに参加した人に配布した参加賞は、二五〇個でした。これだけ多くの人達に楽しんでもらえるには、踊り場が狭く今後の問題として、本部テントの位置変更等の検討が必要と思われまふ。

この盆踊りを見ていた来賓の人がしみじみと、「姥ヶ山の踊りは松の木に囲まれたこの環境で行われている…これが昔からの本当の盆踊りなんだよねーこれからも続けて欲しいですね」と語りかけてきました。今まで何気なくこの祭りに対応してきた自分ですが、確かに近年他の祭り会場は整備された公園等がほとんどであり、姥ヶ山の松の木の合間を縫って踊る会場は希少価値が有り、今後大切に継続していかなければ…と感じさせられたものでした。

「姥ヶ山祭り」は、諏訪社氏子会と自治会で実行委員会を組織し、六部門の担当係で業務を分担しましたが、各係がそれぞれの役割を責任を持って行い、又、お互い都合の付かない場合は分担し合って補完してもらいました。このように総合力で対応する、これが大切なものと思います。

最後に、本年も地元企業の皆様より昨年を超える協賛金を頂きましたことに心よりお礼を申し上げます。



子どもみこし



盆 踊 り



ゲーム

姥ヶ山会館について

管理部長 坂井 等

今、姥ヶ山会館が建設されて四十一年が過ぎました。これまでに、トイレの改修工事、和室の畳替え、玄関の雨漏りによる外壁及び内装の一部張替え、柱の取替などのリフォームあるいは改修、補修を繰り返しながら今まで各種団体やサークル活動に利用されて来ました。

現在は、自治会女性部による定期的な清掃活動や、利用される皆さんのご協力により、飲食後の生ゴミ等の持ち帰りが徹底され、いつでも快適に利用出来るようになりました。

これからも「次に利用する人の為にきれいにしてお帰りましょう」の気持ちでご利用いただけますよう、お願いいたします。



姥ヶ山会館内 ホールと和室

「この指 とまれ！」

女性部長 高橋ひろみ

今年度、女性部では二件の行事を企画・開催致しました。

初夏、六月には、のんびり温泉付き陶芸教室を、十月末には、水上バス他二箇所のコースで市政バス見学を開催しました。どちらも個人ではなかなか行けない所でしたのでとても好評で、参加された方々にはお褒めを頂き、笑顔でお帰り下さいました。

欲を言えば、もう少し美味しい昼食だったら・・・しかし、これも予算の関係で贅沢は言えないのが実情です。

何はともあれ、一応、活動のノルマ？は達成！

何処の部でも、いえ自治会全体でも参加人数に苦慮するところが大きいかと思えます。

子どもの頃のかくれんぼや鬼ごっこのように、「この指 とまれ」と立てた一本の指に、わあ〜と大勢が簡単に集まってくれると助かるのですが、現実には厳しいのです。

どうぞ皆様、各案内・広報にしっかりと目を通して、ご近所・お知り合いにもお声掛け頂き、より多くのご参加をお願い・お待ちしております。

「みんなでやればなお楽し」



陶芸教室（6月10日）

ごみ減量徐々に

環境部長 桑原英治

家庭では、毎日のようにごみが出てきます。市では、環境、リサイクルなどから「分別」によるごみ減量への取り組みが進められており、私達も積極的に協力しているところです。

当自治会でも毎年、春と秋に「クリーン作戦」を実施、地域からごみゼロを願う活動を続けています。

今年も、五月六日(春)十月十九日(秋)に行い、それぞれ九十七人、百十六人の参加がありました。ご協力に感謝申し上げます。

ごみの量は少なくなる傾向にあります。が、それでも小型トラック三、四台分が回収されております。特にゼロにしたい粗大ごみは、電化製品や寝具が春、秋ともに捨てられていました。ごみ減量は、一人一人の責任とともに長い取り組みが痛感されます。

一方、防犯灯は昨年より環境配慮型のLED灯の導入を進めています。が、今年は昨年より五灯多い十五灯を取り替えました。従来の蛍光灯に比べ明るいように感じられます。二百灯ほどが完了するまでには年数がかかると思いますが、ご理解をお願いいたします。



クリーン作戦で回収されたごみ

平成二十六年活動報告

文化育成部長 高嶋千明

十月十二日(日)、恒例となりました町民大運動会を開催しました。

今年は会場となる桜が丘小学校の耐震工事の関係で天候に係らず当初より体育館での開催となりました。

当日は三百人程の参加者があり大変盛り上がりしました。今年は、役員改選があり、役員の大半が変わった事に加え、一部競技のルール変更に伴い、スムーズに運営できなかった点がありました。

競技内容については、昨年の反省点を踏まえ大玉送りのルールを改正し、より多くの参加者に大玉に触ってもらうことができたと思います。又、バケツリレーについても昨年に引き続き実施しました。今後、他の競技についても、少しずつ工夫をしていけたらと考えます。

また、景品については、昨年同様新潟市農協様より新米の差し入れがあり、福引に使用させて頂き、参加者の皆さん大変喜んでいました。

今後参加者の皆さんに楽しんで頂ける運動会にしていけたらと思います。また、ご協力頂きました役員の皆様に感謝いたします。

夏休みラジオ体操については、七月二十五日〜八月十二日の間(土日除く)、桜が丘小学校と諏訪神社で行いました。桜が丘小学校では耐震工事の関係で毎年行っている前庭ではなく、グラウンドでの実施となり、最初のうちは場所がわからない子どもたちもいました。

天候は昨年と違い今年は天候に恵まれ中止は一日だけでした。夏の朝から、子ども達とラジオ体操をするのも気持ちのいいものです。

ぜひ自治会の皆さんにも参加して頂きたいと思います。



夏休みラジオ体操



第31回 大運動会

衛生部長としての一期目

衛生部長 小熊由紀夫

今までは、衛生部員としての作業を行ってきましたが、本年度から部長として活動することになりました。

衛生部の活動としては、五月のクリーン作戦と同時に終わるゴミステーションの点検と不法投棄ごみの回収に始まり十月のそれで終わる、比較的短い期間での活動となります。

その間には、六月の一斉下水清掃と、六月と八月に行われるアメシロ駆除の薬品配布、およびボーフラ対策として雨水枡への薬品投与があります。

ゴミの不法投棄に関しては、大型ゴミや、タイヤ等は減ってきていますが、紙屑やポリ袋等のごみは結構捨てられています。人々のマナーの改善を望みます。

下水清掃については、作業者の高齢化があり、今後の実施方法に課題を残していると思います。

今後も、ご協力をお願いいたします。



アメシロ駆除の様子

第十五回防災訓練

生活安全部長 松原益雄

十月二十六日(日)に、桜が丘小学校を会場として自治会防災訓練を実施し一〇七名の方にご参加いただきました。

今回は、昨年に引き続き日本赤十字社にご指導を依頼して、六名の指導員の方を派遣して頂きました。

主な内容は、三角巾を使った応急手当訓練、AEDの取り扱いを含めた心肺蘇生法訓練、炊き出し訓練でした。

AEDについては、十セット借用できたため、ほぼ全員が体験できたと思います。

参加者の年代構成は、五十才以上の方が八十四人(79%)で、昨年と同様に若年層の参加は少数でした。この点は今後の課題として改善すべきだと思います。

十一月に、山潟コミ協の防災訓練があり参加してきましたが、そこでは、ダンボールを使った簡易ベッドやパーティションの組み立て訓練がありました。

当自治会の防災訓練も、そのような新しい訓練も取り入れていこうと思います。



「さいの神」準備作業

さいの神プロジェクト 事務局

十一月二十三日午前中に、「さいの神プロジェクト」実行委員と小中学校の子どもたち・先生方、計八十一名で、「さいの神」のための準備作業を行い、夜には、七十二名の参加で全体説明会を行いました。前夜からの雨で、作業ができるのか心配していましたが、雨具の必要もなく予定通りに作業が完了しました。

実行委員の皆様には、ご協力に感謝いたしますとともに、当日の作業もよろしくお願いたします。

十一月十一日三時に点火となります。皆様、ご家族でご参加下さい。



写真同好会 山潟三八会

会長 利根川高雄

当会の名称の由来を聞かれた時「三十代から八十代までの幅広い年代の人が、写真を楽しむ会です」と答えています。これは、先輩諸氏から伝え聞いたものです。

発足は昭和五二年と云われており、五三年より会員の作品から「年間最優秀者」を決め、持ち回しの優勝カップに名前を記して保存されております。(写真参照)これは、平成九年まで続き更に、平成五年より春季・秋季の撮影会での作品から課題作を、そして各自が撮った作品から自由作を持ち寄り金賞・銀賞・銅賞の表彰を実施するようになり、その後連綿と継続されています。

現在二二名の三八会の活動としては、毎年春季・秋季の撮影会を新潟県及び近県で、日帰り又は一泊で実施しており、その約一ヶ月後各自の作品を持ち寄り発表会を行い、参加者の投票により前述の表彰をしております。又、作品の展示会を、第四銀行姥ヶ山支店等で行っております。皆様も機会がありましたら是非ご覧下さい。

写真とは、「自分だけに与えられた、その一瞬を切り撮る」それが最大の魅力ではないか?と感じております。今後も会員諸氏と共に、楽しく写真を愛でて行きたいものと思っています。



絆を大切に明るく 楽しい持続的発展を

姥ヶ山長寿会 会長 大谷辰之

豊かなこの新潟平野は信濃川阿賀野川の大河をはじめ多くの中小河川による流進土砂の長年月に亘る堆積により成り立つものと考えられています。

ここに住み付いた先人の方々は低湿地、葦原、水害等の悪条件の中にあつて刻悪勤勉今日の沃野を造り上げて来られたものと思ひ深く感謝申し上げます。

姥ヶ山長寿会は当地域の高齢の方々を対象とした友愛の会です。会則に示すように、会員相互の支援親睦を旨とし健康と福祉の増進を図り併せて地域社会に奉仕し老齢の日々を楽しく過ごす事を目指しています。現在会員は一二五名であります。

事業計画に沿って行われている年間事業の主なものはこちらのとおりです。

- 一、清掃
毎月第二日曜日早朝 諏訪神社、自治会館、地藏尊、公園五ヶ所
- 二、祝事
敬老の日の祝福記念品贈呈
- 三、葬儀供養行幸
先亡者供養法要 即往寺にて
会員逝去に当り葬儀参列お見送り
入院見舞
- 四、教養講習受講
高齢者の交通安全教室
健康教室、健康講話
- 五、娯楽交流
地域の茶の間、旅行、カラオケ教室
- 六、地域社会の行事参加
地区協主催 輪投げ大会(年二回)
お楽しみ会
自治会防災訓練、諏訪社祭礼等

当会は、高齢化が進みつつも後に続く人々を信じて年間行事を進めています。日本人の平均寿命の伸びと共に、健康で元気な高齢者の会として続くことを願い、心ある人々の支援入会をお薦めいたします。



姥ヶ山諏訪神社の清掃にて

姥ヶ山俳句会のご案内

高橋喜代治

姥ヶ山会館ホール上部に「姥ヶ山俳句会」の大きな俳額が掲げられ、そこには四十年近くを経過したとは思えない新鮮な感動を覚える句が十三名の方々によつて詠まれております。

この地で代々営農されながら戦後の大きな転換期を乗り越え、初期自治会の立ち上げや運営に携わつてこられた方々の一時代の姿を映し出すものでもあります。

今年二月、新潟日報に「伝えたい地藏堂での句会」と題して、会員でもあり、姥ヶ山に縁のある、早通・小嶋健一さんの記事が掲載されました。

「昭和の初め頃から、大学の先生方も吟行に訪れ、桜の時期などには、鳥屋野

潟に船を乗り出し、村の農家の座敷で句会が開かれていた。その俳句会が絶えることなく受け継がれ今でも二十人ほどの会員で月一回の俳句会が行われている」

姥ヶ山俳句会は毎月第二土曜日、午前十時から地藏堂を会場に、六丁目の高橋明夫会長のもと開催されております。

参加費は一回五百円、あとは何本か鉛筆があれば初心者の方でも、自由に楽しむことが出来ます。

先人の築かれた地域の遺産を後世に伝え残すべく、新たな参加者の方々を心よりお待ちしております。



窓



今年もまた暮れようとしています。新潟は雨も割と少なく過ごし易い年だったと思う。それに比べ世界や日本の各地で、異常気象等による自然災害が頻繁に発生し、大勢の方が犠牲になった。

まるで地球が悲鳴を上げているようだ。・・・世界中の欲たかりどもが、経済最優先とばかり、大量生産・大量消費を止めようとしれない。人類は地球が壊れるまで気づかないのか？・・・この一年で亡くなられた方々の御冥福を祈りたい。

市長選が終わり、篠田氏が四選を果たした。前回より投票率は上がったが、それでも四十パーセント余り、六十パーセントもの有権者が、投票所に足さえ運ばない。勝てば官軍などとゆめゆめ思わず、選挙結果を厳粛に受け止めた市政運営を心掛けていただきたいものだ。

また、衆議院の解散選挙が師走にありそう。アベノミクスの政策批判から世論の矛先を変えさせ、庶民の嫌がる消費税増税を延期することで、国民の信任を得て、自身の政権延命を図ろうとする事が見え見えである。七億億もの税金を使いなんと姑息な一手であろう。国民は馬鹿ばかりではない！・・・千兆もの借金を未来の者へ肩代わりさせるのか？・・・

若者よ、投票に行きなさい！
特定秘密保護法・集団的自衛権・原発再稼働等争点は沢山ある。
リーダーシップをはき違え自分の思いを前面に押し出そうとする。
高倉健のように、己を殺し、欲を張らず、怒らず、人に優しい男の中の男は、この日本にはもういないのか？・・・

(O.S.M)

編集後記

今年も残りあとわずかとなりました。姥ヶ山では例年どおり諏訪神社の年末年始の初詣と来年一月の「さいの神」を行います。

○諏訪神社初詣

お札・お守りの授与及び浄火
十二月三十一日午後三時から
一月一日午後四時まで
お札は一年経ちましたら浄火にて焼納し、新しく受けましょう。焼納できるものはお札、お守り、破魔矢、熊手、しめ縄、正月飾り、神棚、さかき、神棚の燃えるもので不燃物は浄火できません。

○さいの神

平成二十七年一月十一日(日)
午後三時から
場所 江東園近くの空き地
(昨年と同じ場所です)

無病息災を願う伝統行事です。正月飾り、しめ飾り、書き初めなどを燃やし(不燃物は不可)、スルメなどを焼いて食べます。当日はスルメの販売、甘酒の振る舞い等があります。

皆様のお越しをお待ちしております。

投稿募集

最近気になること、ちょっとした話、サラリーマン川柳など、まじめなご意見から笑えるお話まで、会員皆様の原稿を募集しています。発行は、毎年2回です。詳しくは、各ブロックの総務部までお問い合わせ下さい。

